

学校だより 3月号

令和5年3月1日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

URL <https://koya-e-konosu.edumap.jp/>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です

あすはわたしら ぼくらの世界 小谷小ここに ほこり持て

(本校校歌の一節)

校長 棚澤 大輔

今年度も最後の月となりました。令和4年4月8日にはじまった「小谷っ子令和4年度物語」も、いよいよ締めくくりを迎えることとなりました。一人ひとりの物語が合わさって、今年度分の小谷小学校としての大きな成長物語が完成します。今回はその中でも、6年間の物語を終えようとしている6年生に、スポットライトを当てたいと思います。

6年生との出会いは、4月6日でした。新1年生の入学式の準備のため、学校にお手伝いに来てくれた12人の6年生。少ない人数でしたが、教職員とともにてきぱきと準備を進めてくれた姿は頼もしく、参列した入学式では、その立派な態度から最高学年としての意気込みを感じることができました。

授業での様子というのは、はじめはややおとなしい印象を受けましたが、授業態度はいたって真面目で、真剣に学習に取り組んでいました。仲間とともに学び合う活動、パソコンを使っての調べ学習や自らの考えを表現する活動、繰り返しのドリル学習の取組も5年生までの積み重ねが発揮され、また、家庭での自主学習の取組も全員が目標の200ページを達成するなど、自分たちで学習を進めることができていました。

運動面では、5月にバスケットボール大会、10月に陸上競技大会に参加しました。バスケットボール大会ではチーム6年生として、一丸となった取組を練習から見せてくれました。一人ひとりが自分の役割をよく意識し、練習でその力を伸ばすことができました。その結果、見事全勝。その陰には、励まし合う素晴らしいチームワークがあったことも忘れられません。陸上競技大会では、自分の種目の練習を仲間や先生とともに短い時間ながらもよく練習し、自己記録の更新をめざし頑張っていました。こうしたチームワークや個人の努力する姿は、下学年のよいお手本となりました。

6年生を1年間見てきて印象的なことは、仲間を大切にする姿でした。6年間に共に過ごし、互いのことをよく知り、声を掛け合い、助け合い、それぞれのよさを認め合いながら絆を深めてきた6年生の皆さん。市内音楽会でのすてきな歌声は、この絆が生み出したものだと言えます。「心」や「思い」を、「心遣い」や「思いやり」という目に見えるものとして表現していました。本当に、下学年の手本となる立派な6年生でした。



6月に行った「立志式」では、一人ひとりが将来の自分の目標を発表してくれました。将来の自分の姿を伝えるだけでなく、そのためにどんなことを今後取り組んでいくべきかということも考えて発表していました。目標に向かうための道筋や方策を考えられている6年生は、どこかで足踏みすることや迷うこともあるでしょうが、きっと確実に進むべき方向に向かって前進していけると感じました。

本校の学校教育目標は「夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成」です。6年生の1年間の取組を見て、この目標は十分達成することができたと認めたいと思います。ぜひ、地域の皆様にも、6年間頑張って立派に成長した6年生にお声がけいただければと思います。ただ、この成長は本人たちの努力があったことはもちろんですが、保護者や地域の方々から声をかけていただき、見守っていただき、支援していただいたからこそでもあります。ぜひ、6年生には周囲への感謝の気持ちを強くもって次のステージに進んでほしいと願っています。

一方、6年生からのバトンは5年生を代表とする在校生が受け継ぐ準備ができています。3月には、委員会や通学班の引継ぎをしっかりと行うとともに、6年生が安心して卒業できるよう、卒業式では在校生を代表して4・5年生が立派な態度で式に臨んでくれることでしょう。

小谷小学校の歴史と伝統は、今年も1年間の教育活動を経て次へ引き継ぐこととなります。今年度も保護者・地域の皆様には、多大なるご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。